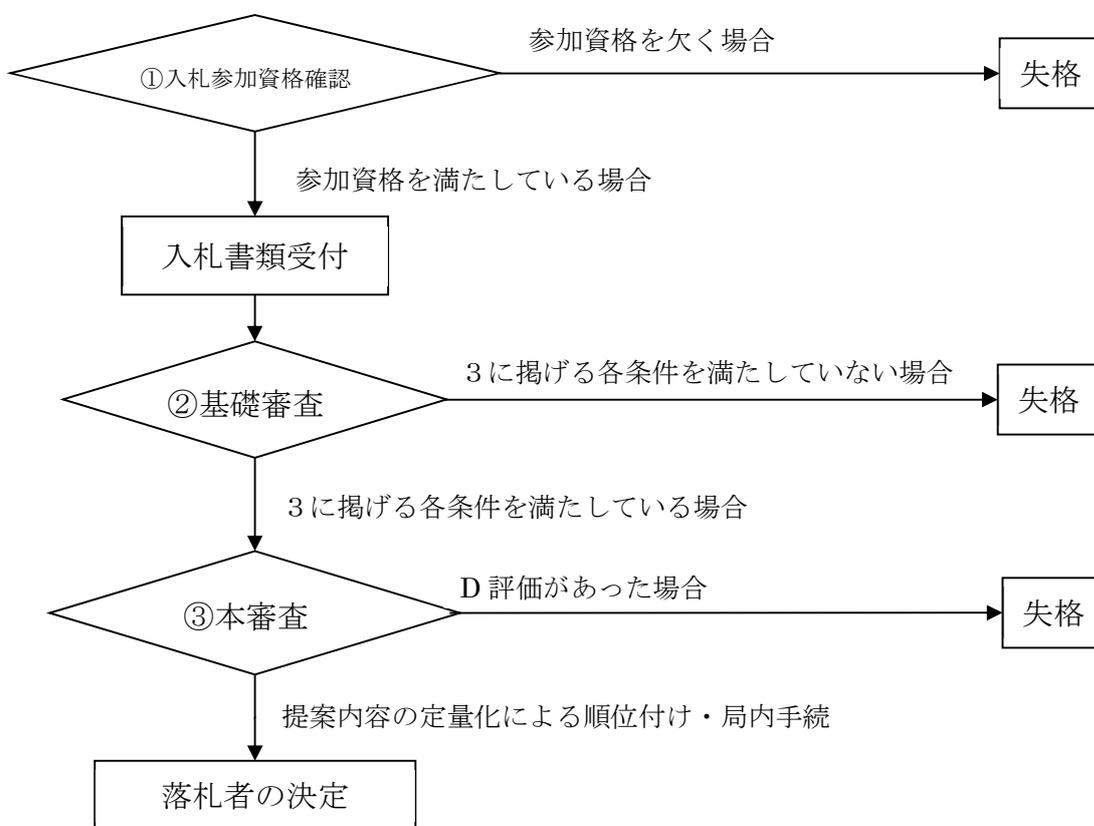


金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託

落札者決定基準

1 落札者の決定の基本的考え方

落札者の決定の基本的な考え方は、次のとおりである。



2 入札参加資格確認

入札参加資格は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）の指名停止措置等を受けていない等の欠格要件および下水道施設に関する運転管理実績等により定める。詳しくは入札説明書第 4 項を参照。

なお、入札参加者が 1 者であっても、本書に規定したとおりの手順によって評価・選定を行うものとする。

3 基礎審査

入札参加資格を確認された企業は、入札書類を提出する。入札書類の審査は、基礎審査と本審査に分かれる。基礎審査は、次の審査を行い、全ての条件を満たしている場合に本審査に進めるものとする。

(1) 価格審査

提案価格が予定価格を超過していないかの確認を行う。

なお、この事業の公募において応募者がいない場合又は審査の結果によりすべての提案において予定価格を超過する場合には、落札者の決定を行わないことがある。

(2) 技術審査

提案が、特記仕様書に定められた条件を全て満たしていることの確認を行う。また、不明点がある場合に内容確認のヒアリングを行うことがある。

4 本審査

本審査は、加算方式による評価を行う。

総合評価点は1,000点満点とし、価格に関する配点を400点、業務提案の質に関する配点を600点とする。

点数は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出し、同点者がある場合はくじ引きにより落札者を決定する。

総合評価点（1,000点満点）＝価格に関する評価点（400点満点）＋質に関する評価点（600点満点）

(1) 価格評価

次の計算式により価格に関する評価点を算出する。

A社の価格に関する評価点（400点満点）＝（最低応札価格）／（A社の応札価格）×400

(2) 提案評価

質に関する評価点は、アに示す評価項目ごとに、イに示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は失格とする。

なお、審査にあたってヒアリングを行うことがある。

ア 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
実施方針	前処理施設の特性や市における本事業の位置づけを十分に理解しているか。	①本事業に対する理解度・確実な処理	50	前処理施設の性格理解	前処理施設の特性、及び当該特性を踏まえた運転・維持管理における方針
				工場排水の処理実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ	本事業に必要となる要員毎の能力についての考え方や工場排水の処理実績等本事業の管理に資する会社としての業務実績
				利用企業への配慮	本施設の運営や負担、協力への理解を得るための、利用企業に対する具体的な行動
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。 セルフモニタリングは機能するか。	②人員配置	45	適正な人員配置	具体的な人員配置計画や、想定される様々な事象に対応できる体制・技術力、従業員の労働環境に対する配慮
				有資格者の配置状況	有資格者の配置計画とその特徴
				研修教育の実施体制	従業員の研修・教育の内容と具体的実施方法
		③マネジメント	70	鳥浜第一・福浦に対する統一的な管理、運営管理業務体制	PDCA を含む管理の体制や具体的実施方法
				会社全体のバックアップ体制、人員体制の継続性	施設の安定的な稼働を継続させるための会社全体のバックアップの考え方、従業員の安定的な確保や欠員補充への対応
				セルフモニタリングによる事業改善	事業の質を向上させるためのセルフモニタリングの実施内容
				引継ぎ時の協力体制	前受託者からの引継ぎ及び次受託者への引継ぎの両方を円滑に行うための考え方、体制等
運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。	④ 運 転 計 画・薬品等の使用	75	施設全体の運転、処理状況の把握と管理	施設全体の状況把握と管理を最適化するための運転管理計画の考え方
				市の整備計画との整合	市の工事計画を踏まえた運転

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
				性	管理計画の作成方針
				年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画	天候や季節、利用企業による変動を前提とした安定化、及び定期点検や運営管理業務を踏まえた効率化のための運転計画の考え方
				薬品、油脂類、材料等の適正な調達管理、選定基準の考え方	薬品やその他物品の調達管理の考え方、と業務品質の向上に資する調達先の選定上の工夫
				流入基質の変動を踏まえた薬品の効率的な使用方法	流入する水質の傾向や変動を踏まえた上での効率的な薬品の使用に対する考え方
		⑤水質・汚泥管理	45	水質や汚泥の適正な管理	流入水・処理水水質や汚泥に係る基準値の遵守に対する工夫
		流入量や水質変化時の対応（異常流入・流入水質異常等）	流入する水量や水質の管理方法及び異常流入や基準値超過等が発生した場合の具体的な対応方法		
		有効利用や埋立基準に適合した汚泥処理	汚泥の有効利用や埋立基準の遵守を見据えた、シアン・クロムの管理や汚泥処理に対する具体的な考え方		
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。	⑥ 定期点検・軽微な修繕	100	適正な日常点検と定期点検	施設の円滑な稼働のための日常点検・定期点検の具体的な実施内容と工夫
				予防保全の考え方	予防保全に関する維持管理基準の設定及びそれに伴う効果
				維持管理データの蓄積と活用	維持管理データの管理方法、及び本事業の維持管理や市側の計画策定時における提供や助言等、具体的な活用策
				軽微な修繕の実施手続き、修繕先の選定方法	軽微な修繕の具体的な実施手続き（市に対する協議や連携方策、実施内容の判断方法や突発的な事態への対応、実施体制等）、外注が必要となる場合における外注先選定上の工夫

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する対応体制は適切か。	⑦リスク項目に対する通常時の備え	55	災害、感染症、事故、故障等の施設の立地を踏まえた想定されるリスク及び当該リスクへの通常時の備え	施設の立地を踏まえた想定される各種リスク、及び当該リスクに確実に対応するための、定期訓練の実施等通常時の準備や体制に対する考え方
				会社としてのバックアップ体制	緊急時の会社としてのバックアップ体制
				緊急時のマニュアル整備	緊急時に備えた取り組みの具体的内容
		⑧リスク項目発生時の対応策	55	上記の想定されるリスク発生時の具体的な対応策	想定されるリスクが実際に生じた際の応急処置及び市との連携方法に対する考え方
施設管理	安全、環境等に配慮した計画となっているか。	⑨安全、環境等への配慮	60	安全・防犯等への取り組み	職員や見学者の事故を未然に防ぐための安全や防犯等に対する具体的な取組内容
				環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）の取り組み	場内の美化や緑化、臭気の低減化等、市の施設として地域に貢献するための環境行動の具体的な取組内容
				省エネルギー・CO ₂ 削減等SDGsへの取り組みに対する考え方	本事業における省エネルギーやCO ₂ 排出量の削減等、市のSDGsの目標達成に資する具体的な取組内容
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	⑩優れた提案	45	応募者の創意工夫による追加的な提案、地域活性化や、本事業に対する高度な提案	その他、市の政策目標を踏まえた、本事業や地域活性化等に資する有効な提案
合計			600		

イ 加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点)×1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点)×0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点)×0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点)×0.0

以上